

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		生産調整推進対策現地確認事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040101000823
						単独/補助	単独	所属課	050101
政策体系	総合計画の施策名	0401 農林業の振興						課長名	農林課
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり						グループ	水田農業振興室
	施策名	01 農林業の振興						担当者名	
	手段名	01 ①担い手の育成・支援							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	06	01	07	01	00	水田農業対策事業		
法令根拠						桜川市補助金等交付規則			
[Do]						1. 事務事業の現状把握 (その1)			

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<ul style="list-style-type: none"> 桜川市農業再生協議会が補助金の受け手となり、水田農業推進センターへ業務委託し、水田農業推進センターが事業を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 水稻生産実施計画書の配布及び回収 実施計画書の電算投入 現地確認資料作成 転作 (麦)、水稻、転作 (大豆・そば) の現地確認 現地確認野帳整理及び電算投入 結果確認通知書の送付 	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 水稻生産実施計画書の配布及び回収 現地確認資料作成 水稻、転作 (麦・大豆・そば等) の現地確認 現地確認野帳整理及び電算投入 結果確認通知書の送付 	確認面積	ha	2,211.00	2,151.00	2,151.00	2,151.00	2,151.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 地区説明会に参加した経営体、経営体に農地を提供しようとする農家等。 	実施計画申請者数	戸	3,415.00	3,377.00	3,377.00	3,377.00	3,377.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 地域の中心となる経営体になってもらい、農地の集積を図る。 新規就農を希望した人が就農する。 	生産調整達成農家数	戸	2,859.00	2,409.00	2,409.00	2,409.00	2,409.00
	転作田の面積 (麦・大豆・そば)	ha	626.00	666.00	670.00	673.00	675.00
				0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定総投入量
投入量	事業費	国庫支出金 千円	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0
		その他 千円	0	0	0
		一般財源 千円	700	700	700
	事業費計 (A) 千円	700	700	700	
	正規職員従事人数 人	11.00人	11.00人	10.00人	

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)		03年度事業費 予算 (千円)		
	18 負担金補助及び交付金	700		18 負担金補助及び交付金	700
		合計	700		合計

事務事業名	生産調整推進対策現地確認事業	事務事業No.	40101000823	所属課	農林課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 米の需要量が昭和38年度をピークとして減少する一方、米の生産量は、単収の向上等から昭和42年産から3年連続して高水準となり、大幅な生産過剰が生じたことから、緊急的に米の生産量を抑制し、需給均衡を図ることを目的として、昭和46年度から本格的な生産調整対策が開始された。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 交付金をもっと早く交付してほしい。（国から直接農家へ交付される制度）					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・生産数量目標達成率の向上。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・生産目標数量の達成、未達成の判断として不可欠であり妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ・国より生産量の設定があり県協議会より生産数量目標に相当する数値が設定されており、適切である。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・米価下落の要因となってしまう。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない ・他に類似事業がない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ・必要最小限で実施している。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・国より生産量の設定があり県協議会より生産数量目標に相当する数値が設定されており、適切である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・タブレットを導入した事により、現地確認の精度があがりスムーズに実施できた。今後も確認作業を効率よく実施できるようにする。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>維持</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上	維持		○	×	低下	維持	×	×	×
成果		コスト																			
		削減	維持	増加																	
向上	維持		○	×																	
低下	維持	×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>